





上の大きな写真は全体の鳥瞰図です。その下は無料の催し物のプログラム、その右は正面入り口、右はクロック・コートの天文時計です。次のページの左はポンド・ガーデン、その右は東表面の庭園です。兎に角、ルネッサンス絵画、調度品、タペストリーなどどれを見ても超一級品であった。庭園も沢山あった



が、所謂、幾何学的デザインの英国型庭園であった。鉄道駅はヴィクトリア駅からの終点で、時刻表があったので日本へ持ち帰ったところ、偶然にも友人が、英国へ行き鉄道でハンプトン・コート宮殿へ行く計画があると聞き時刻表が役立つこととなった。ハンプトン・コート宮殿からロンドン市内へは地方道を利用した。ホテルに再チェックインしてから、マーブル・アーチのハーツ・レンタカーオフィスへ車を返しに行った。保険をすべてかけてあったので、返却はノーチェックであった。ホテルへはハイドパークを横切って帰った。ホテルの部屋は前はアップ・グレードしてくれて、エグゼクティブフロアーであったが今回は普通の部屋が割り当てられた。